

活気あふれる風土の実現を目指して

当社グループでは企業全体の成長を促進するため、これまでの職場環境からより新たな価値を生み出し続けるための時代背景に則した風土づくりを目指しています。「熱意と覚悟を持ったものが集う活気あふれる風土」の実現に向けて、風土改革に取り組んでまいります。

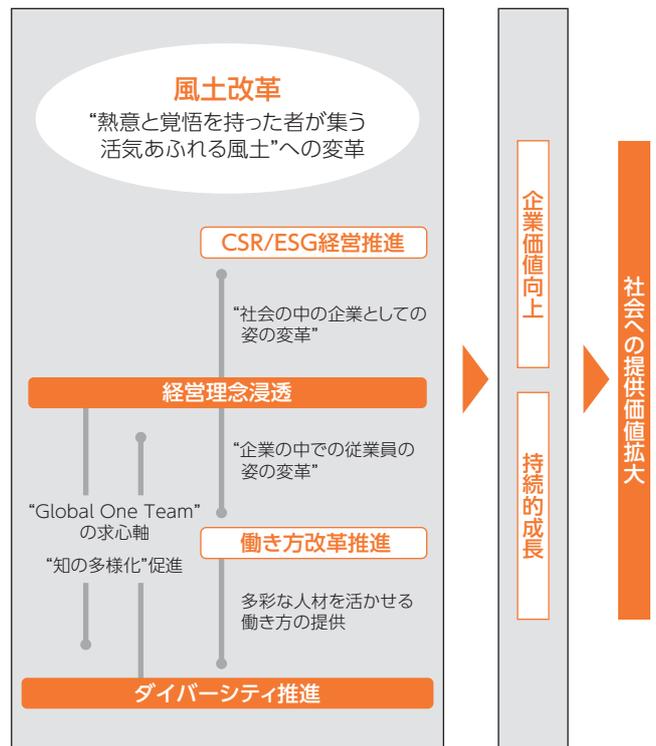
風土改革の取組みの背景・狙い

当社グループが持続可能な成長を実現するためには、私たちを取り巻く全てのステークホルダーに対して、新たな価値を創造し続けることが不可欠だと考えています。当社グループは今までの風土を変革し、「熱意と覚悟を持った者が集う活気あふれる風土」の実現を目指し、風土改革に取り組んでいます。2018年1月に設置された風土改革ステアリング・コミッティ(以下、風土改革SC)のもと、経営理念浸透、CSR・ESG経営推進、働き方改革・労働生産性向上をそれぞれの目的とする3つのワーキンググループで活動を展開してきました。

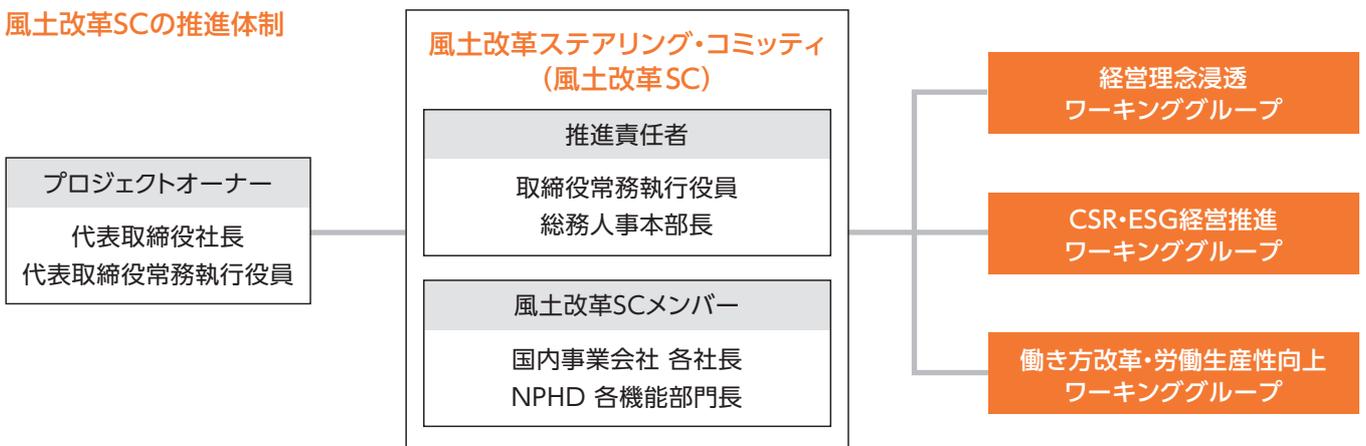
それぞれのワーキンググループは日本ペイントホールディングスと各事業会社の選抜メンバーで構成されており、2018年度はワーキンググループで議論を重ねることで、目指すべき姿のベクトルを合わせ、現状の把握や課題の抽出を行うことから活動がスタートしました。

風土改革SCの取組みは、中期経営計画「N-20」の施策の1つとして、当社取締役会において定期的に報告されています。

こうした活動は短期間で成果が得られるものではないため2019年も引き続き活動を継続します。



風土改革SCの推進体制



経営理念浸透ワーキンググループ

ミッション

2018年1月に制定した新経営理念は、当社グループが一体感を持ってグローバルで成長していくうえで、世界で働くすべての仲間が共有できる求心力、各自の「羅針盤」として重要なものです。当社グループでは、経営理念の浸透を経営における最重要課題と位置付けています。経営理念浸透ワーキンググループの活動を通して、経営理念に対するグループ社員の理解を醸成し、共感の促進を目指しています。

主なテーマ

- 国内のグループ社員に対する浸透活動の実施
- 海外版経営理念の策定と浸透の実施 ▶ テーマ取り組み状況はP31参照



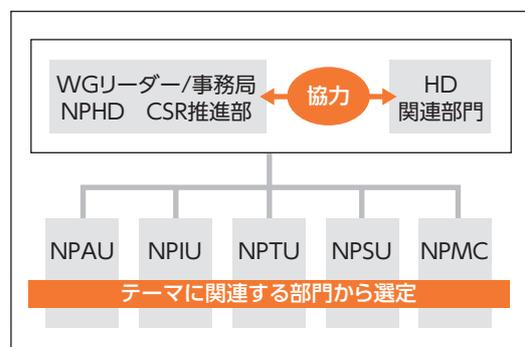
CSR・ESG経営推進ワーキンググループ

ミッション

CSR・ESGワーキンググループでは、事業活動と一体となったCSRを目指し、「製品による環境影響の緩和」をメインテーマとして活動しています。ものづくり企業として社会との最大の接点は製品と考えており、製品を通じた環境貢献と商品戦略を一体的に考えることにより、従業員を含む全てのステークホルダーが当社グループ事業の社会課題への貢献を実感することで、事業活動を通して自然とCSRに取り組む風土が実現すると考えています。

主なテーマ

- 環境影響を緩和する製品（「環境配慮製品」）の定義明確化
 - 上記「環境配慮製品」を商品戦略の中に位置付ける
 - 製品を通じた環境影響緩和について、目標を設定する
- ▶ テーマ取り組み状況はP17-P20参照



ワーキンググループ推進体制

働き方改革・労働生産性向上ワーキンググループ

ミッション

国内グループ全社員を対象にアンケート調査を実施し、回答結果から得られた8の切り口を元にテーマを設定し、活動を推進しています。こうした活動を通じて、働きやすくやりがいのある職場環境をつくり、価値創造を生み出し、生産性を高めるサイクルの実現を目指しています。

主なテーマ

- 会議および資料作成の効率化
 - コミュニケーション
 - IT活用
 - 業務改善・業務削減
 - 基幹職のマネジメント支援
 - 評価制度・認め合う仕組み
- ▶ テーマ取り組み状況はP34参照

